

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大 学 名	大阪大学
整理番号	A-②-6
事 業 名	世界的健康問題の解決に向けた医学研究グローバルリーダー育成プログラム

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	
<p>本プログラムは、北京大学、精華大学、上海交通大学及び天津中医薬大学と、延世大学校の日中韓の計6大学でコンソーシアムを組み老化関連疾患による世界的健康問題の解決に向けた医学研究グローバルリーダー人材の養成を目的としている。</p> <p>運営面では、各連携大学の教員で構成する国際教員会議を設置し、単位互換や成績管理、シラバス等の教学上の事項の協議を進めており、質の保証を伴う大学間交流の枠組みが形成されている。また、我が国初となる医学領域における博士課程ダブル・ディグリープログラムの協定を天津中医薬大学、延世大学校と締結した点は評価できる。ダブル・ディグリープログラムの参加候補者も決定しており、当初計画からの遅れは見られたが、体制は順調に整備されており、実施に向けた計画が進行している点も評価できる。</p> <p>一方で、大阪大学での交流学生への支援体制は順調に構築されているものの、相手大学での支援体制は明確であるとは言えない。各大学間でも計画の実施に関してかなりの差が見られ、全参加大学共同での構築とは言い難い面があることから、コンソーシアムとしての共通の枠組みの設定と確立が望まれる。また、大阪大学内の基礎・臨床・社会医学系の参加講座間の連携、シナジー効果等が不明確である点は今後の課題である。さらに、単位認定、単位互換についても当初計画からの遅れが見られることから、早急に合意形成を進めるとともに、単位取得を伴う交流実績を挙げていくことが望まれる。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。</p>	